ぐんまちゃんレター

群馬県の旬のおすすめ情報を
「ぐんまちゃん」がお知らせします

2018年2月号

発行：群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室
TEL：027-897-2695 FAX:027-243-3600
E-Mail：kouhouka@pref.gunma.lg.jp

ユネスコ登録資産とぐんま

多胡碑記念館

群馬県には、ユネスコが文化遺産・自然遺産の保護等を目的として定めるもののうち３分野の資産（世界遺産、世界の記憶、ユネスコエコパーク）とユネスコ関連事業の資産である日本ジオパークがあります。この４つが全て揃っているのは群馬県だけです。

世界の記憶 (Memory of the World)

平成２９年１０月３１日、「上野三碑(こうずけさんぴ)」が世界の記憶に登録されました！

高崎市にある山上碑(681年)、多胡碑(711年頃)、金井沢碑(726年)の３つの石碑を総称して「上野三碑」と呼ばれています。これらの石碑は約1,300年の時を超え、仏教や文字の広がりや渡来人の動き、朝廷の支配体制など当時の様子を語りかけるとともに、家族への思いや子孫繁栄の願いなど、古来より大切にされてきた思いを伝えています。

山上碑（やまのうえひ）

６８１年に僧が母の供養のために建てた石碑。完全な形で残る石碑として国内最古。隣の古墳に母が埋葬されたと考えられている。母への思いに感動すること間違いなし。

多胡碑（たごひ）

７１１年に多胡郡という郡をつくった記念に建てられた石碑で、日本三古碑のひとつに数えられる。近代以降の日本の書道界に影響を与えた「優れた書体」は必見。

金井沢碑（かないざわひ）

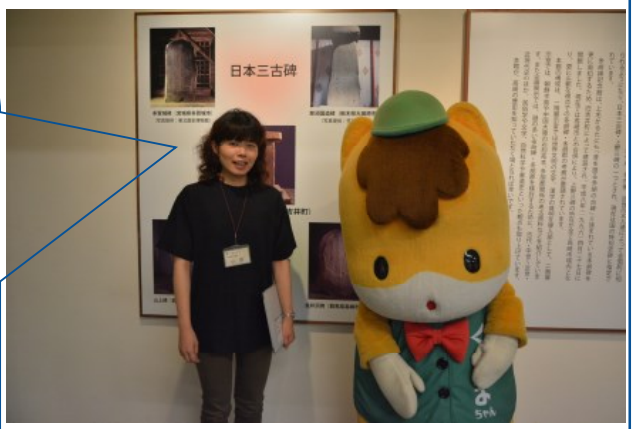
７２６年に三家氏一族が先祖供養と子孫繁栄を願い建てた。女性が婚後も実家の祭祀に参加し、氏族の結束に強い役割を果たしていたことなど、当時の社会が垣間見られる石碑。

多胡碑記念館　学芸員　岡村友理香さん

多胡碑に隣接する多胡碑記念館では、上野三碑のレプリカや解説パネル、多胡碑の碑文の書風にかかわる中国の刻石の拓本などを展示しています。全国の古碑のレプリカも数多くあり、比較して楽しめます。

周囲は緑あふれる「吉井いしぶみの里公園」として人々の憩いの場にもなっています。遠くには『万葉集』東歌に詠まれる歌枕「多胡」の風景をのぞむことができます。

碑文というと「なんだか難しそう」と思われがちですが、見ていただければ、きっと素敵な発見がありますよ。



多胡碑記念館（吉井いしぶみの里公園）
所在地：高崎市吉井町池1085　　TEL：027-387-4928
利用料金：大人200円、大学生100円
（「世界の記憶」登録を記念し３月末まで無料）
満65歳以上・高校生以下は無料
開館日、利用時間等はＨＰで　多胡碑記念館

NEWS

・3月9日～11日、上野三碑を一般公開。「世界の記憶」登録を記念し、例年1日のみの公開日を3日に拡大。通常はガラス越しにしか見学できない碑を直接見られる絶好の機会です。
・「上野三碑スタンプラリー」を３月末まで開催中。三碑を巡ってスタンプを集めると、抽選で３５０名 に上野三碑ロゴ入りトートバッグをプレゼント。

世界遺産（World Heritage Site）

○富岡製糸場

高品質な生糸の大量生産を実現した技術革新、日本と世界の技術交流の歴史的な価値が評価され、関連施設とともに平成26年に世界遺産に登録されました。現在、国宝「西置繭所」の保存修理工事が行われていますが、工事の様子を間近で見学できるよう期間限定で見学施設が設けられています（2019年春までの予定）。４月上旬には、桜が咲き誇り、夜にライトアップも行われます。

所在地：富岡市富岡1-1
TEL：0274-67-0075（富岡製糸場内総合案内所）

富岡市国際交流員　ダミアン・ロブションさん

ボンジュール！世界遺産登録後、富岡市とフランスの歴史的な関係が再び脚光を浴びています。明治政府に雇われたフランス人指導者ポール・ブリュナの故郷ブール・ド・ペアージュ市との友好都市締結をはじめ、ブリュナが富岡にいち早くまいた日仏交流の種がシルクのように輝き、未来につながっていきます。

富岡製糸場見学の際は、日仏友好についても思いを巡らせていただけると幸いです。

フランス サブレ＝シュル＝サルト市出身。 2013年8月から富岡市の国際交流員として、富岡製糸場で文献の翻訳や外国人要人の通訳などの業務に取り組んでいる。

○荒船風穴　（見学期間は4月から11月）

日本最大規模の蚕種貯蔵施設。夏でも岩の隙間から冷風が吹き出している天然の冷蔵庫です。ここに蚕種を保管することで、年１回だった養蚕が複数回可能になり、繭の増産に貢献しました。

下仁田ＩＣから車＋徒歩で約１時間ほどかかる天空の場所に位置し、明治時代にどのようにここまで蚕の卵を運んだのか、現地に行くと感動すること間違いありません。解説員さんが分かりやすい資料を使って説明してくれるのも魅力です。

世界遺産を構成する絹産業遺産でもあり、下仁田ジオパークのジオサイトの一つでもあります。

写真はインスタグラムによる「ＦＩＮＤ ＧＵＮＭＡ フォトコンテスト」の投稿作品

所在地：甘楽郡下仁田町南野牧甲10690-1外
TEL：0274-82-5345（下仁田町歴史館）

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」はこの他、田島弥平旧宅（伊勢崎市）、高山社跡（藤岡市）により構成されています。

ユネスコエコパーク (Biosphere Reserves)

平成２９年６月１４日、みなかみ町と新潟県の一部で構成する地域がユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に登録されました。ユネスコエコパークは豊かな自然と人の暮らしが続いていくための取り組みを積極的に行っている地域を登録する仕組みです。

これまで地元の方々が利根川源流の貴重な自然を守り、農業や観光など地域づくりに活かし、自然と人間社会の共存を目指してきた活動が「世界基準」で認められ、ユネスコエコパーク登録決定につながりました。

群馬県と新潟県の境界の山稜一帯は、太平洋側と日本海側の大気がぶつかり合う中央分水嶺で、世界でも有数の豪雪地帯です。

山岳地域では、大量の積雪の影響等により、急峻な岩壁や雪食凹地、河岸段丘などの特徴的な地形や、周氷河地形などの豪雪地特有の地形を形成しています。標高2,000mに満たない地域ですが氷河の痕跡も確認されています。

これらの特殊な地形・地質や、日本海側と太平洋側の気候条件の移行帯であることなどから、多様で希少な動植物が育まれ、独特の生態系が見られます。

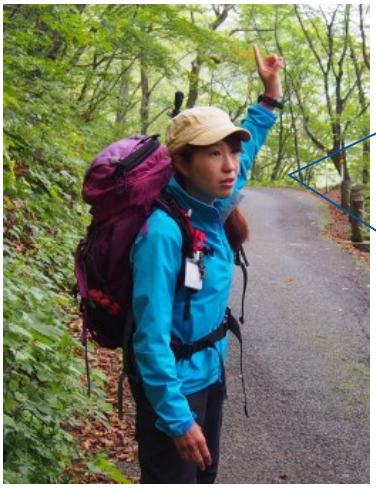
源流域（赤谷の森）の空を舞うイヌワシ

エリア内の固有種ホソバヒナウスユキソウ

谷川連峰

環境学習に適した森林

（問い合わせ先）みなかみ町エコパーク推進課（0278-62-2111）



山岳ガイド　松原美成子さん

２人の子どもの子育てをしながら、エコツアーのガイドをしています。生活をしていく中で、自然との距離がとっても近く感じること、子どもたちにとって本物の自然を五感で感じることができること、子育て環境がとても良いことが、みなかみの魅力です。

帰り際、お客様から「とっても良かったよ」「また来るよ」と行ってもらえると本当に嬉しいです。みなかみの大自然を楽しみに是非いらしてください。

コラム

ぐんま県境稜線トレイル（平成30年8月全線開通予定）

群馬県が整備を進めているロングトレイル「ぐんま県境稜線トレイル」は、みなかみ町や嬬恋村など群馬と新潟・長野の県境稜線１００ｋｍを主要ルートとしたロングトレイル。国内のロングトレイルの中でも稜線の長さは最長となり、著名な温泉も数多くあるため、新たな観光誘客の目玉として注目されている。

日本ジオパーク

下仁田ジオパーク

下仁田ねぎ、こんにゃくで有名な下仁田町は、大地の動きを学べる場所として、県外の学校も教育旅行で訪れる場所です。一番の見所は、山の上と下で地層が異なる「根なし山」と呼ばれる山々と、その証拠となる断層など。長い年月をかけ、遠くから山が動いた事実は驚愕です。

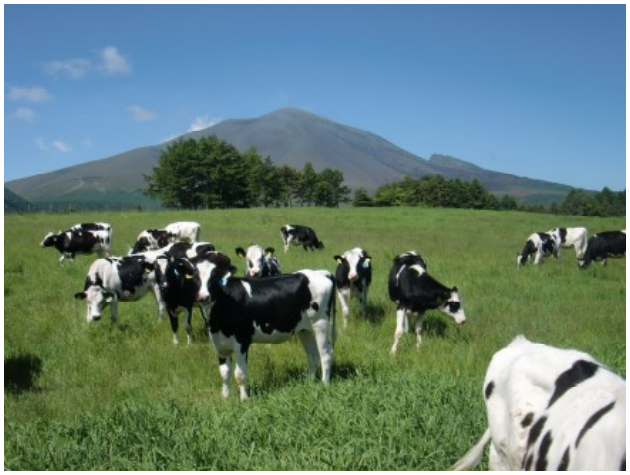
下仁田町自然史館(0274-70-3070)では展示パネル等で概要を学べます。お勧めのガイドツアーは下仁田町観光協会(0274-67-7500）まで。

「安兵衛」の新井渉さん、隆江さん

昭和のレトロな街並の中に店を構え、ジオ定食（チキンカツカレー、ポテトサラダ、ライスのワンプレート）を６００円で提供しています。ライスが青のりとバルサミコ酢で「地層」となっていて、観光客や地質の研究をする大学生に人気です。ご当地グルメの下仁田カツ丼もお勧めです。

所在地：甘楽郡下仁田町下仁田363-6
ＴＥＬ：0274-82-2516

浅間山北麓ジオパーク



地震や火山が多い国に住む私たちにとって、火山や大地について学ぶことは重要なことです。浅間山は、噴火による災害と、日本一の夏秋キャベツ産地に代表される豊かな大地の恵みをもたらしてきました。現在、山麓一帯は高原リゾートして利用され、雄大な景観の中でのハイキング、スノーシューなども楽しまれています。

ジオパークの見所として、溶岩の中を散策できる鬼押出し園、火山博物館のある浅間園、天明の大噴火について学べる鎌原観音堂や嬬恋郷土資料館などのほか、シャクナゲ園、レンゲツツジ群落など花の名所もあります。

（問い合わせ先）浅間山ジオパーク推進協議会事務局（0279-82-5566）
所在地：嬬恋村大字鎌原494-45（嬬恋村地域交流センター）